



# 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月3日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理担当執行役員 (氏名) 櫻井 英哉 (TEL) 03(5786)7080  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,038	—	231	—	231	—	132	—
22年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	4,815.49	4,233.78
22年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成22年3月期第1四半期は、連結業績のみを公表しておりましたので、上記において経営成績は記載しておりません。尚、平成22年3月期第1四半期の非連結ベースの業績は以下の通りです。

(参考) 平成22年3月期第1四半期業績 ※ ( ) は、今1四半期の前1四半期に対する増収および増益率です。  
 売上高：867百万円 (19.7%)、営業利益：80百万円 (189.2%)、経常利益：105百万円 (119.2%)  
 当期純利益：58百万円 (126.3%)

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	1,594	898	56.2	32,652.88
22年3月期	1,546	827	53.4	30,087.39

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 895百万円 22年3月期 825百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2,250.00	2,250.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	3,450.00	3,450.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期 (累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
通 期	4,300	17.8	800	84.8	790	78.3	460	16,770.57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

(注) 第2四半期累計期間の業績予想につきましては、業績管理を年次で行っているため、記載を省略しております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	27,429株	22年3月期	27,429株
23年3月期1Q	－株	22年3月期	－株
23年3月期1Q	27,429株	22年3月期1Q	27,407株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	5
【第1四半期累計期間】	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
「参考」.....	8
(1) 【四半期連結損益計算書】.....	8
【第1四半期連結累計期間】	
(2) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】.....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のモバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成22年6月30日現在における携帯電話の累計契約台数が11,371万台、そのうち第3世代携帯電話端末の台数は11,115万台(前年同期比8.5%増)(注1)となっており、全体の97%を占めるに至っております。また、モバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場をあわせたモバイルコンテンツ関連市場は平成21年(1月～12月)に1兆5,206億円(前年同期比12.4%増)(注2)となり依然としてマーケットが拡大していることに加え、プラットフォームの多様化によるコンテンツ配信経路の拡張など、携帯電話を利用した新しい事業モデルやグローバル市場への期待が高まっております。

当社におきましては、当事業年度の重要施策である、選択と集中戦略と焦点絞込戦略を強力に推進しました。資本効率の最大化、売上高の最大化、営業利益の最大化を目的としたコンテンツの育成・撤退ルール「4Cプログラム」に則り、資本効率が高く成長性の高いコンテンツに経営資源を集中した結果、ミニゲームサイト「プチゲームDX」を軸に堅調に売上高・利益を伸ばしました。さらに、当四半期よりモバゲータウンにて新規参入したソーシャルゲームにおいては、第1弾「熱血硬派くにおバトル」、第2弾「レースバトルだ！くにおくん」ともに順調に会員数・売上高が推移しております。この結果、第1四半期における売上高は1,038,206千円(前年同四半期比19.7%増収)、営業利益は231,522千円(前年同四半期比189.2%増益)、経常利益は231,508千円(前年同四半期比119.2%増益)、四半期純利益は132,084千円(前年同四半期比126.3%増益)となり、過去最高益を更新しました。尚、上記は非連結ベースでの比較となっております。

(注1) 社団法人電気通信事業者協会の調査に拠っております。

(注2) モバイル・コンテンツ・フォーラムの調査に拠っております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (総資産)

当第1四半期末における総資産は、売上増加に伴う売掛金の増加、サーバー増強に伴う固定資産の取得などにより1,594,181千円となり、前事業年度末に比べ48,084千円の増加となりました。

#### (負債)

当第1四半期末における負債は、未払金の減少および長期借入金の返済などにより695,610千円となり、前事業年度末に比べ23,015千円の減少となりました。

#### (純資産)

当第1四半期末における純資産は、繰越利益剰余金の増加などにより898,570千円となり、前事業年度末に比べ、71,099千円の増加となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、629,606千円となりました。

##### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、65,958千円となりました。主な収入要因は、税引前四半期純利益226,211千円によるものであり、主な支出要因は、売上債権の増加額83,484千円、未払金の減少額63,489千円によるものです。

##### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、18,895千円となりました。主な要因は、サーバー等有形固定資産の取得による支出18,720千円によるものです。

##### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、75,384千円となりました。主な要因は、配当金支払による支出61,715千円、長期借入金の返済による支出14,400千円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年8月2日に開示いたしました、「平成23年3月期業績予想の上方修正に関するお知らせ」でも公表しましたとおり、通期業績予想を上方修正いたしました。平成23年3月期の通期業績は、前期実績に比べ、営業利益で84.8%増、経常利益で78.3%増と、それぞれ増益し、2期連続で最高益を更新する見通しです。これは、平成22年4月20日より開始した、「熱血硬派くにおバトル」を始めとするソーシャルゲームが順調に推移しており、直近の状況を加味し通期業績予想を見直した結果、前回発表予想を上回ることが明らかになったためです。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当ありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これに伴い、当第1四半期の営業利益、経常利益は、適用前に比べて782千円減少し、税引前四半期純利益は2,868千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金の変動額は2,868千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	629,606	657,927
売掛金	682,233	598,748
その他	30,906	26,885
貸倒引当金	△6,178	△5,921
流動資産合計	1,336,568	1,277,640
固定資産		
有形固定資産	53,386	31,336
無形固定資産	60,004	72,216
投資その他の資産	144,221	164,904
固定資産合計	257,612	268,456
資産合計	1,594,181	1,546,096
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,622	165,071
1年内返済予定の長期借入金	57,600	57,600
未払金	255,760	311,310
未払法人税等	84,158	12,904
その他	43,268	58,140
流動負債合計	596,410	605,025
固定負債		
長期借入金	99,200	113,600
固定負債合計	99,200	113,600
負債合計	695,610	718,625
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	320,372	320,372
資本剰余金	310,372	310,372
利益剰余金	264,890	194,521
株主資本合計	895,635	825,266
新株予約権	2,934	2,204
純資産合計	898,570	827,470
負債純資産合計	1,594,181	1,546,096

(2) 四半期損益計算書  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,038,206
売上原価	386,287
売上総利益	651,918
販売費及び一般管理費	420,396
営業利益	231,522
営業外収益	
受取利息	0
その他	722
営業外収益合計	722
営業外費用	
支払利息	736
営業外費用合計	736
経常利益	231,508
特別損失	
減損損失	3,210
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,086
特別損失合計	5,297
税引前四半期純利益	226,211
法人税、住民税及び事業税	82,363
法人税等調整額	11,763
法人税等合計	94,127
四半期純利益	132,084

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	226,211
減価償却費	13,785
減損損失	3,210
貸倒引当金の増減額(△は減少)	256
支払利息	736
受取利息	△0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,086
売上債権の増減額(△は増加)	△83,484
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,448
未払金の増減額(△は減少)	△63,489
その他の資産の増減額(△は増加)	2,814
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,206
小計	82,471
利息の支払額	△738
利息の受取額	0
法人税等の支払額	△10,132
その他の支出	△5,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,720
無形固定資産の取得による支出	△175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△14,400
配当金の支払額	△61,715
新株予約権の発行による収入	730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,384
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,320
現金及び現金同等物の期首残高	657,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	629,606



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

「参考」

(1)【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	998,079
売上原価	397,429
売上総利益	600,650
販売費及び一般管理費	514,715
営業利益	85,934
営業外収益	
受取利息	91
保険解約返戻金	24,748
その他	48
営業外収益合計	24,889
営業外費用	
支払利息	2,485
株式交付費	0
その他	3
営業外費用合計	2,489
経常利益	108,334
特別損失	
固定資産除却損	19,866
関係会社株式売却損	11,357
特別損失合計	31,224
税金等調整前四半期純利益	77,110
法人税、住民税及び事業税	43,751
法人税等調整額	△7,009
法人税等合計	36,742
四半期純利益	40,368

(2) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	77,110
減価償却費	51,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,746
受取利息及び受取配当金	△91
支払利息	2,485
関係会社株式売却損益(△は益)	11,357
株式交付費	0
固定資産除却損	19,866
売上債権の増減額(△は増加)	△21,222
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,449
仕入債務の増減額(△は減少)	△127,038
未収消費税等の増減額(△は増加)	2,339
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,845
その他の資産の増減額(△は増加)	532
その他の負債の増減額(△は減少)	△5,424
小計	23,826
利息及び配当金の受取額	61
利息の支払額	△2,256
法人税等の支払額	△15,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△150
無形固定資産の取得による支出	△113,414
敷金及び保証金の差入による支出	△79,212
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△28,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△200,000
株式の発行による収入	174
配当金の支払額	△24,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,488
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△439,135
現金及び現金同等物の期首残高	1,021,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	581,887